

# いらんちゃフェスタ2015in丹後 700人が参加



「米軍基地をなくそう」「住民の安心安全を守ろう」と、10月31日、京丹後市網野町アミティ丹後で「いらんちゃフェスタ2015in丹後」が開かれました。主催は、米軍基地建設を憂う宇川有志の会と米軍基地建設反対丹後連絡会で、京都府民の会、近畿連絡会が共催しました。集会には、京丹後市民をはじめ、府内各地から700人が参加。集会終了後には、網野町中心街をデモ。米軍基地をなくそうとのデモに、市民が家から出て手を振る姿が各所で見られました。

写真・アミティ丹後ホールでの集会（上）講演する沖繩・赤嶺政賢氏（中左） 網野町の中心街をデモ（中右、下）



集会は午後12時から交流イベントが開かれ、うたや、物産展などが行われました。午後1時30分からの集会は、第一会場のホールだけではなく、第二会場もいっぱい。主催者を代表して、米軍基地建設を憂う宇川有志の会の三野みつる代表が「網野町での開催は、この地に軍属の居住地がつくられるから」「京丹後の米軍基地には、河野統合幕僚長やケネディ大使が訪問するなど、この基地がいかに重要なかを示している」「子どもたちが安心して暮らせる社会をつくるためにがんばりましょう」とあいさつ。

## 沖繩・赤嶺政賢衆議院議員が講演

集会では沖繩からかけつけた赤嶺政賢衆議院議員が講演。NHKなどのマスコミは辺野古新基地建設が「本格的にはじまった」と報道しているが「全くの作り話」。

「ハードルがいっぱいある」と、沖繩の現状とともに、日本から米軍基地をなくそうと訴え会場の参加者から大きな拍手を受けました。国会報告を、倉林明子参議院議員（共産党）、福島瑞穂参議院議員（社民党、ビデオメッセージ）がおこない、現地の報告を、憂う会の永井友昭事務局長と田中邦夫京丹後市議が行いました。

各団体や地元での発言では、府民の会・奥村一彦弁護士、近畿連絡会・大湾宗則代表世話人、フォーラム平和・関西ブロック池元昌弘事務局長、網野町住民と宇川地区の住民がしました。グローバルネット・ブルース・ブキャナン事務局長からのメッセージも紹介されました。丹後連絡会の近江裕之事務局長が、「京都米軍基地いらない基金」への協力などの行動提起をおこないました。参加者は、集会後、網野町の中心街をデモを実施しました。（集会の詳細は別途掲載します）

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会（略称：米軍基地いらない京都府民の会）連絡先：京都市中京区土生仙念町30-2 フォールボール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話075-801-2308 fax075-812-4149 過去のニュースはURL: <http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html> で見ることができます。